

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成25年度事業)

事業の概要		事業開始年度 平成16年度		根拠法令・例規等 備前市まちづくり基本条例
総合計画	大項目 基本構想	03	協働「コミュニティ」	問 担当課(室) 市民協働課 合 職・氏名 市民協働係長 馬場 敬士 先 電 話 0869-64-1806 このシート作成に要した時間 1.5 時間
	中項目 基本計画	04	地域での支え合いを基本とした協働を推進するまち	
	小項目 施策	12	コミュニティの育成と地域活動の支援	
事務事業名		01	協働推進事業	

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	まちづくりに関心のある市民、ボランティア活動に関心のある市民	
目的 (何のために)	市民と行政が相互の理解と信頼の下、目的を共有し、連携・協力して地域の公共的な問題の解決を目指す	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	市民と行政が協力し一体となったまちづくりを目指していく。	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するための実施した事業	細事業名	協働推進事務	岡山県及び他自治体職員との意見交換などにより協働推進。 ・「協働のまちづくり研修」の開催 ・「備前市協働事業補助金」の交付 【対象団体】 公益的な活動を行う市内の団体(自治会、NPO法人など) 【対象事業】 福祉、まちづくり、環境、その他の分野に係る地域の身近な課題を解決しようとするもので、協働事業として実施することが適切と認められる事業 【補助金額】 対象事業費の2/3以内で200千円を限度	◎
	パートナーシップ推進事業	まちづくり基本条例による「協働によるまちづくり」を推進。パートナーシップ推進会議を開催し、政策提案、協働事業を審査し、事業の実施促進を図る。		○

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	863	1,897	2,232
	必要人員	人	0.27人	0.52人	0.45人
	事業費	千円	2,413	4,778	3,843
	事業費	千円	3,276	6,675	6,075
	国庫支出金	千円			
受益者負担	千円				
繰入金	千円		1,835	1,965	
市債	千円				
その他()	千円				
一般財源	千円	3,276	4,840	4,110	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
ファミリーテーター養成講座参加者数	人	実施回数 H24: 3回 H25: 5回			
結果指標量	人		108	134	
対前年比	%		#VALUE!	124.1%	
活動コスト	円		757,530	1,278,300	
単位当たりコスト	円	#VALUE!	7,014	9,540	

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
協働事業提案数	成果指標名	目標値 (A)	-	3	4	2
		実績値 (B)	-	3	4	到達目標値
		達成率 (B/A)	#VALUE!	100.00%	100.00%	4
成果指標設定の考え方・式や説明						
この制度は、備前市まちづくり基本条例第28条第2項の規定により実施を要請されている。協働機会の確保を考えていくうえで、本指標を成果指標とすることは妥当である。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やいい 高 低い	B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やいい 高 低い	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やいい 高 低い	C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やいい 高 低い	

進行年度 (H26年度) の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		状況		○					
説明		協働事業提案制度、ファミリーテーター養成講座について、継続実施。							

総合評価		総合評価	C
協働事業の提案数が2件と昨年度の半数となった。また、制度開始から提案者も変わらない状況だ。自治会、NPO等へもっと積極的に周知していく必要があった。ファミリーテーター養成講座は、2期目を迎えた。今回は全3回の講座で、前回の半分の回数となっている。講座生の募集に苦労したが、前回と同様、笑顔の絶えない講座となっている。市職員の「協働」への認識不足がうかがえる。協働事業に対しても「提案者が事業を行っているのであり自分のところは関係ない」というような雰囲気がある。		総合評価 ABCDE 高や普や低 いや通やいい 高 低い	C

平成27年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標		協働事業提案制度は、周知の範囲を広げる。ファミリーテーター養成講座は、26年度をもって終了とし、修了生を中心に今後もサロンを実施していく。年2回以上を目標とする。市役所内の「協働」意識の向上のため、職員を対象とした研修を実施する。							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

が事業の目的や成果指標に留意しな